

寅さん歩 その 17



ドイツ散歩-8（最終回）

平野 武宏

フュッセン散歩と最後の訪問先、ミュンヘン散歩です。

〔フュッセン～ミュンヘン〕

2017年6月16日（金）

フュッセンのホテル周辺を朝の散歩です。
ひんやりした高原の気候です。



フュッセンのホテルの
朝食の写真です。

Sさん、朝食時にポットの
水をペットボトルに
詰めていたら、係の女性

に注意され、後で1€を持ち、謝りに行ったそうです。

ドイツでは水は有料。Sさん曰く「1€を受取り、機嫌を直して
くれた」とのこと。（€=EUユーロ、現在1€=130円程度）
ここのトイレは他と少し違うので 写真に撮りました。



右にある丸い容器はペーパー入れでかなり小さく切れます。
正面にあるのは、流しスイッチ、真中を押すと流れます。他のホテルでは流しスイッチが大・小用に分かれているのもありました。
この日はハイキングの案もありましたが、前日に雨が降ったので、全員がバスで**世界遺産のヴィース教会**に向かいました。
ヨーロッパで最も美しいロココ様式(室内装飾に特徴があり、主に宮廷建築に用いられ、バロック建築の最盛期の後、18世紀にフランスに始まり各国に広まった)の教会のひとつと称えられているとのこと。途中はひどい雨でしたが、バス到着時は小雨。のどかな草原の中に建っています。中は華麗な装飾と鮮やかな色彩のシンフォニーに包まれていました。1738年近郊の修道院で放置されていた「鞭打たれる姿のキリスト像」が涙を流したという奇跡が起き、その像のために建てられたのが、ヴィース教会(写真下)だそうです。



帰りの1時間に1本のバスを待つ間、教会内で旅行中の行動を懺悔(美味しい朝食を食べ過ぎていること、サクランボを食べたこと、ワインの試飲等)して、お許しをいただきました。朝早くて観光客が少ないのに、レンタカーでドイツの旅をしている日本人夫婦、転職の就活を終えて3週間のヨーロッパ人旅の若い日本人女性に会いました。ドミトリー(民泊)では2段ベッドの男女相部屋だったとのこと。無事の帰国と新しい仕事での活躍を祈ります。
フュッセン駅に戻るバスは途中から満員となり、前払いのバスを後ろから乗ろうとする人にみんなで大声を上げ、やめさせていました。すっかり天気が回復したフュッセン市内を散策しました。丁度、お昼時で広場は人々で賑わっていました。

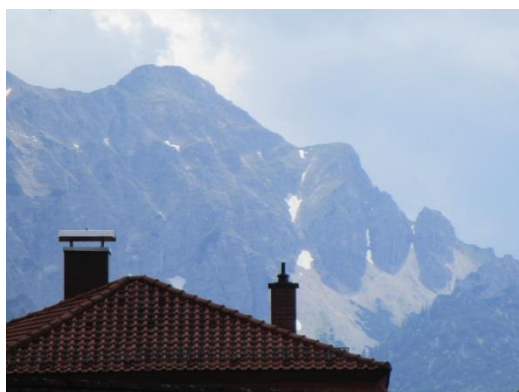


ランチは写真下の店でピザにしました。3人で分けて食べる量です。



写真左の店でコーヒータイム。寅次郎の黄色い帽子はここでも中年女性を魅了し、「同席を！」と呼び込まれました。オーストリアの女性で、連れはドイツ人の男性でした。

15時フュッセン駅からミュンヘン中央駅に向かいます。オーストリアとの国境が近いので駅から雪渓の残る山が見えました。写真下右は車窓からの風景です。牧草地以外は一面の麦畑です。



ミュンヘン中央駅（写真上左）に到着です。大都会で駅前には若者がたむろし、警官の職務質問を受けている光景は今までの街と違います。駅から近いホテル（写真上右）です。このホテルのEVに驚きました。EVが着いて手で外扉を開くと、同時に内扉が開きます。部屋にはエアコンはなく扇風機がありました。早速、市内を散策。駅前からカールス門、新市庁舎のある旧市街へ向かいました。



駅近くの風景



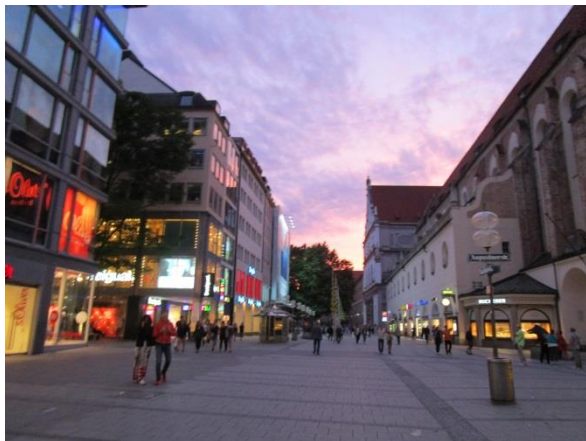
カールス門



新市庁舎と教会

ミュンヘンに来たら観光客が一番に行くというビヤホール HB（写真下左）へ入りました。1階は満席、2階は予約席、3階の屋外は残念ながら満席（写真下右）、屋内でやっと14席を確保。ドイツの旅の打ち上げです。白ソーセージはミュンヘン名物です。ビール・ワイン込で20€（飲んだ人）。





写真上は 21 時 30 分頃の夕焼けの光景です。

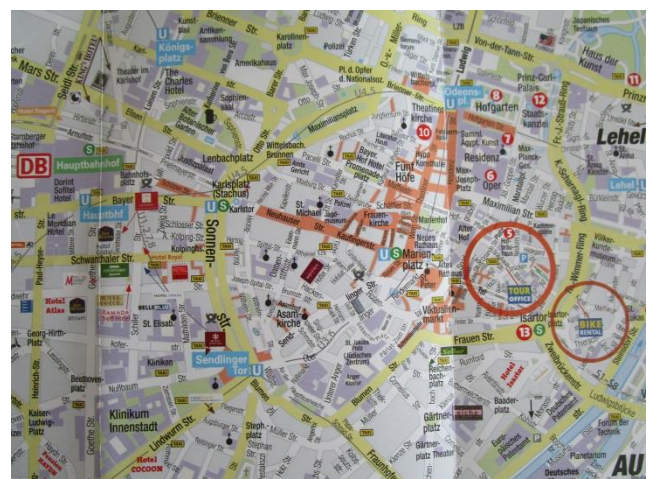
前のホテルにベッドの脇に差し込んだ C プラグを忘れてきました。プラグごと抜かなかったこと、机などよく見える場所で充電しなかったことを反省。でも SE のプラグを予備に持っていたのでカメラの充電は大丈夫でした。ホテルの TV チャンネル数はドイツ語 (22)、英語 (9)、フランス語 (4)、イタリア語 (3)、エスパニア語 (5)、アラビア語 (1)、ラジオ (6) あり、驚きました。() 内は数。

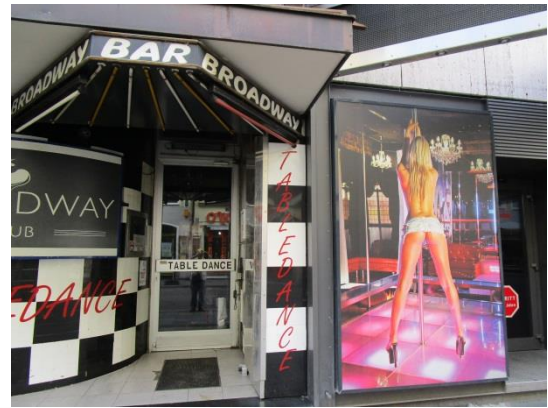
[ミュンヘン～フランクフルト]

ミュンヘン旧市街の地図です。
左の DB が中央駅です。右に行く道の先が旧市街の中心部です。

6月17日(土)

夜通し、賑やかな声が聞こえていました。
朝 6 時に静かになりました。朝、確認するとホテルの下はバーとキャバレーでした。





ホテル下の店（2軒）

午前中はミュンヘン市内を再度散策。新市庁舎、聖ペーター教会、聖母教会など撮影ポイントが沢山あり過ぎて、建物の名を正確に言えません。



マーケットと朝食を食べる人々です。美味しそうな肉とチーズがありました。



11 時、新市庁舎の仕掛け時計の踊りを見て、名所と言われる新市庁舎地下 1 階のレストランでドイツでの最後のランチです。



新市庁舎の仕掛け時計と踊る人形

写真下左はレストラン入口（二人のいる扉から地下へ）、名物白ソーセージの食べ納め（12.3€）。コーヒーを頼むと、「なぜビールを飲まない？」、「日本人は昼には飲まない！」と言うとウエイトレス、

不思議な顔をしていましたが、寅次郎の「ツー ヤング！」で笑って納得。白ソーセージの脇はドイツパンです。



ホテルへの帰り道の風景です

ホテルに戻り、ミュンヘン空港へ出発。フランクフルト空港での乗継ですが、ミュンヘン空港で出国検査、14人中5人が再検査を受け、1人は果物ナイフを没収。最近、お腹に金塊を巻く密輸事件があり、お腹を見られた女性もいたとか。乗継便（ルフトハンザ）が50分も遅れてミュンヘン空港到着で、フランクフルト空港では残ったユーロを使う時間がありません。フランクフルト空港からはJAL便です。日本女性の客室乗務員の挨拶にホッとした寅次郎です。機内では早速、NHKの日本語ニュースを見て、サービスの冷たい日本茶、夕食に出た日本米、味噌汁、おそばに感激です。

6月18日（日）フランクフルト～成田空港

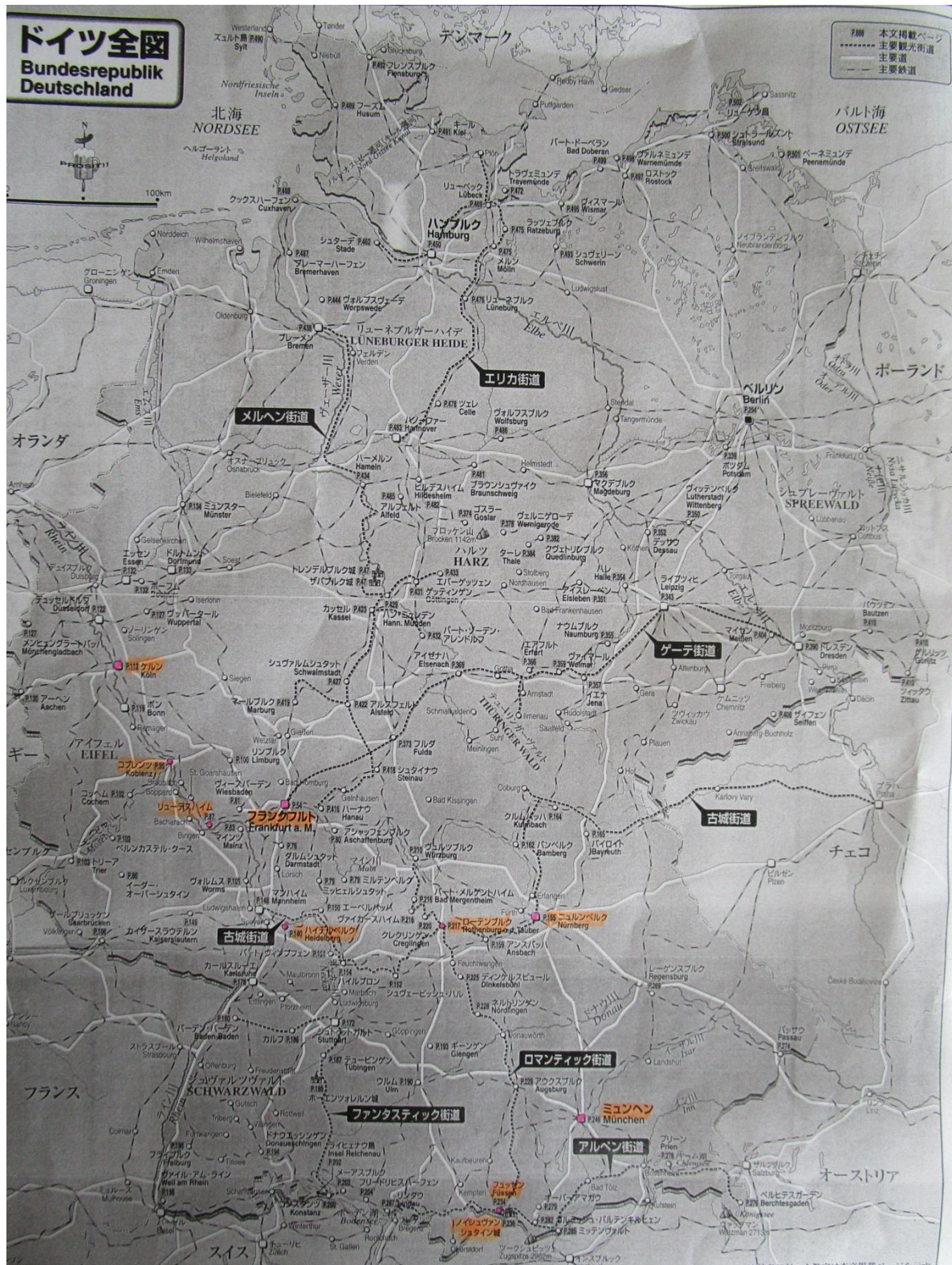
13時35分、無事成田空港に到着。梅雨に入り、21℃で湿度の高い日本です。リーダーKさんのち密なスケジュール、ガイドブック片手の観光ガイドでKさんを助けた女性達、鉄道の乗り降りでも力を発揮・女性の面倒をみていた男性達、全員のチームワークで思い出に残る、楽しいドイツの旅が出来ました。

家に戻り、ウォッシュレット、湯船に浸かうお風呂を堪能。

不在中のメール・郵便物・新聞はすぐに片付きましたが、録画 29 本は 1 週間かけて見ました。

ショックだったのは不在中の電気料金が前月より 1,200 円、水道料金が 2,100 円も安かったこと。「時差ボケだ!」と言ったら、「出かける前と同じよ!」との妻のひと言です。

ドイツ散歩の全訪問地です。よく歩きました。



最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回は お江戸闇魔大王-7 です。

平野 寅次郎 拝